(福祉健康委員会付託)

受理番号 第49号の3

受理年月日 令和6年8月 1日 付託年月日 令和6年9月26日

. . . . . . . . . .

## 陳情原文

1 喘息発作の深夜対応ができる病院が江戸川区には東京臨海病院しかなく、他のどの病院も呼吸器の医師は週に1度しかいないケースしかありません。江戸川区医師会の夜間急病診療所もあるが、設備が整ってないと言われ重症患者は診れません。消防署に呼吸器系の深夜外来はないかと聞くと、深夜でも受け入れるアクティブな病院が多くあると紹介されるが、紹介された病院は全て上記にあるように週に1度しか呼吸器の医師がいないため、消防署のデータベースシステムにも問題があります。どの病院でも優秀な医師はクリニックを独立開業するので、病院じゃなくクリニックを探せと看護師から度々言われる事もあるが、呼吸器内科のクリニックでは点滴などの設備もなく、深夜も開いていないため、重症患者を診れません。昔は江戸川区のどの病院も深夜は喘息の発作対応をしてくれたが、今は江戸川区のどこを探しても上記2件の医院しか深夜は喘息患者を受け付けていない実態があるため、色々と改良して頂きたいです。

2 江戸川区には「医療相談窓口03-3671-1116 (いいいりょう)」という窓口があり、東京都庁からも江戸川区には医療相談窓口があると言われるが、実際に相談しようとすると、相談が行えず、ただ近所の病院を検索されるだけであり、医療相談窓口ではなく、正しくは病院案内窓口であり、紛らわしいので窓口の名前を変え、他に正式に本当の医療相談窓口を設立してほしいです。今の相談窓口は相談できません。病院案内だけで無駄です。

3 コロナ対策が5類になって各病院の判断にゆだねられ、どこも対策をしなくなりました。その影響でコロナが水面下でまた拡大しています。

私は重症の喘息患者なので、よく呼吸器内科に行きますが、呼吸器内科にはコロナ患者も集まります。しかも、週1回しか呼吸器内科の医師がいない病院が増えたため、毎日呼吸器内科の医師がいるような病院にコロナ患者が集まるので、待ち時間も何時間にもわたり、待っている間、横でコロナ患者が座っていたりすると感染します。それで私は5月にコロナ感染し、持病の喘息もあり、死にかけました。感染元は病院です。5類に引き下げられたとはいえ、毎日コロナ患者が待合室で長時間いる環境の実態があるので、病院の判断に任せず対策すべきと思います。

4 コロナ後遺症の対策ガイドラインを政府が発表していないので医師が対応できません。私はコロナ後遺症で苦しんでいますが、医師から「政府が対策を示してくれないので、どうすべきか対応策がない」と言われています。

非常に疲れる(倦怠感)、心臓の痛み、心拍数が安静時でも高い、急な眠気など、 私は東京臨海病院にかかっていますが、東京都庁の紹介で江戸川区内のコロナ後遺 症を診てくれる病院を紹介してもらっても「臨海病院でわからない事はウチに来ら れてもわかりませんよ」と言われてしまいます。後遺症は処方する薬もないですし、 でも苦しんでいる患者もいます。これは区政の範疇ではないと思いますが、ご検討 頂けると幸いです。

5 たらいまわしにならない病院を望んでいます。具体的に言いますと、今の私の 体は異常な箇所が多く、医師によって見解が違う事も多く、良いお医者さんがどこ にいるのか彷徨っている状況です。

1つ困った例を挙げると「整形外科も更に細かい部位の専門家に分かれており、 腕の部位には詳しいが、それ以外はウチの専門じゃない」などと言われたりするの で、患者としては、この整形外科は何が得意なのかを事前に見極められません。普 通、整形外科を名乗っているなら、全身わかる医師であってほしいと思いますが、 部分部分の専門家しかおらず、足の専門医は日本全国を探しても非常に少ないと聞 きます。しかも、上記で書いたように、腕の良い医師は独立開業して病院を出てい き、若い勉強中の医師が出てくる事が多いので、ベテランの医師が見つけられない などあるようです。

今は自転車で走行中に殴られた後遺症で左上半身が麻痺、物も二重に見え、不便な生活をしていますが、大学病院でも若い医師なので答えがぱっとしません。色々な悪い箇所を1回の通院で対処してくれるような、そういった昔は普通にあったような病院があっても良いと思います。体が辛い時に通院回数が多いと足や心臓も悪いので体へのダメージも厳しいです。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 深夜でも喘息患者の受け入れができる体制を整えること。
- 2 十分な相談ができる医療相談窓口を設置すること。
- 3 病院の判断に任せず、コロナの対策をすること。
- 4 コロナの後遺症についての適切な対応をすること。
- 5 1回の通院で様々な箇所を対処してくれる病院を設置すること。